

名古屋市立大学の年度評価の考え方(案)

	実施方法	業務実績報告(法人が作成)	評価委員会による評価	
			項目別評価	全体評価
名古屋市立大学	年度評価は、法人が提出する業務実績報告書に基づき、「項目別評価」、「全体評価」により実施する。なお、業務実績報告書を提出する際には、学生等に対するアンケート結果や外部委員等の意見についても添付する。	<p>年度計画の小項目ごとの達成状況について ~ の4段階で評価し、実施状況と判断理由を記載するほか、特記事項に特色ある取り組み等について記載する。</p> <p>:(年度計画を)実施していない、または大幅に下回っている :十分には実施していない :十分に実施している :上回って実施している</p> <p>教育研究に関しては、その特性への配慮から、原則として専門的な観点からの評価は行わず、年度計画の小項目ごとに事業の外形的・客観的な進捗状況を評価する。</p>	<p>年度計画の小項目ごとの達成状況について ~ で評価を行い、法人による自己評価と判断が異なる場合は判断理由を示し、それをもとに年度計画の大項目ごとにS~Dの5段階で評価するほか、特筆すべき点や遅れている点について記述する。</p> <p>S:特筆すべき進行状況(特に認める場合) A:計画どおり(すべて ~) B:おおむね計画どおり(~ が9割以上) C:やや遅れている(~ が9割未満) D:重大な改善事項あり(特に認める場合)</p> <p>教育研究に関しては、その特性への配慮から、原則として専門的な観点からの評価は行わず、年度計画の小項目ごとに事業の外形的・客観的な進捗状況を確認し、特筆すべき点や遅れている点についてコメントを付す。</p>	項目別評価の結果を踏まえ、中期計画の進捗状況全体について、記述式により評価する。

【検討事項】

教育研究の特性への配慮について

年度計画の「大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置」のうち、

教育の内容及び実施体制並びに研究水準及び研究の成果、研究の実施体制については、教育研究の特性への配慮から専門的な観点からの評価は行わず、事業の外形的・客観的な進捗状況の評価等を行うこととし、

学生への支援、社会貢献、国際交流、附属病院、情報システムの改善に関する項目については、公立大学法人としての性格から、法人と協議のうえ、達成状況の評価を行うこととしてよいか。

評価にあたってのウエイト付けについて

大阪府立大学では、段階評価の実施にあたり、項目の重要性を勘案してウエイト付けを行っている。具体的には、

- ・業務運営の改善において、民間の経営センスを取り入れた経営戦略の推進
- ・財務内容の改善において、外部研究資金の獲得

などの項目に対して高いウエイトを付けているが、このようなウエイト付けが必要か。

他の国公立大学の年度評価について

(資料4 - 2)

	実施方法	業務実績報告（法人が作成）	評価委員会による評価	
			項目別評価	全体評価
国立大学	<p>年度評価は、法人が提出する業務実績報告書に基づき、中期計画の各事項の進捗状況を確認する「項目別評価」、中期計画の進捗状況全体についての「全体評価」により実施する。</p>	<p>年度計画の記載事項ごとに事業の実施状況を ~ の4段階で評価し、その進捗状況を示すとともに判断理由を記載するほか、項目内における重要性等を勘案してウエイト付けを行うことが可能。</p> <p>：(年度計画を)実施していない ：十分には実施していない ：十分に実施している ：上回って実施している</p> <p>教育研究に関しては、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、年度計画の記載事項ごとに事業の外形的・客観的な進捗状況を記述式により記載する。</p>	<p>年度計画の記載事項ごとに、自己評価や計画設定の妥当性も含めて総合的に検証し、法人の評価と評価委員会の判断が異なる場合は、その理由等を示す。また、年度計画の大項目ごとに進捗状況を5段階で評価するとともに、遅れている点、特筆すべき点にコメントを付す。</p> <p>・特筆すべき進捗状況にある（評価委員会が特に認める場合） ・順調に進んでいる（すべて または ） ・おおむね順調に進んでいる（ または の割合が9割以上） ・やや遅れている（ または の割合が9割未満） ・重大な改善事項がある（評価委員会が特に認める場合）</p> <p>教育研究に関しては、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、事業の外形的・客観的な進捗状況を確認し、特筆すべき点や遅れている点についてコメントを付す。</p>	<p>項目別評価の結果等を踏まえつつ、中期計画の進捗状況全体について、記述式により評価する。</p>
首都大学東京	<p>年度評価は、法人が提出する業務実績報告書に基づき、「項目別評価」、「全体評価」により実施する。</p>	<p>年度計画各項目の業務実績とともに、当該項目の達成状況をA～Dの4段階で評価するほか、特筆すべき事項があれば記載する。</p> <p>A：(年度計画を)当初予定より上回って実施している B：当初予定どおり実施している（達成度90%以上） C：実施状況が当初予定を下回っている（達成度60%以上90%未満） D：実施状況が当初予定を大幅に下回っている。若しくは、実施していない（達成度60%未満）</p> <p>教育研究に関しては、その特性に配慮し、事業の外形的、客観的な進行状況の評価を行う。</p>	<p>事業の進捗状況・成果を年度計画の大項目（他大学の中項目程度に相当）ごとに1～4の4段階で評価する。（小項目の評価は行わない）</p> <p>1：(年度計画を)順調に実施している 2：おおむね順調に実施している 3：十分に実施できていない 4：業務の大幅な見直し、改善が必要である</p> <p>教育研究に関しては、その特性に配慮し、事業の外形的、客観的な進行状況の評価を行い、専門的な観点からの項目別評価は行わない。なお、特筆すべき点、遅れている点があればコメントを付す。</p>	<p>項目別評価を踏まえ、中期計画の進行状況全体について、記述式により評価する。</p>
横浜市立大学	<p>年度評価は、法人が提出する業務実績報告書に基づき、「項目別評価」、「全体評価」により実施する。</p>	<p>年度計画の小項目ごとにA～Dの4段階で評価し、それをもとに中項目ごとにA～Dの4段階で評価するとともに、判断理由等を示す。さらに中項目ごとの評価をもとに大項目ごとにA～Dの4段階で評価を行う。</p> <p>A：(年度計画を)上回って実施している B：順調に実施している C：十分に実施できていない D：実施していない</p> <p>教育研究に関しては、その特性に配慮し、事業の外形的・客観的な進捗状況を確認する。</p>	<p>年度計画の中項目ごとにA～Dの4段階で評価を行い、それをもとに大項目ごとにA～Dの4段階で評価を行った後、それらの評価を参考として、大項目ごとの評価について記述式により評価する。</p> <p>A：(年度計画を)上回って実施している B：順調に実施している C：十分に実施できていない D：実施していない</p> <p>教育研究に関しては、その特性に配慮し、事業の外形的・客観的な進捗状況を確認する。</p>	<p>項目別評価を踏まえ、中期目標・中期計画の進捗状況の確認を行うとともに、総合的な評価を記述式により行う。</p>
大阪府立大学	<p>年度評価は、法人が提出する業務実績報告書に基づき、「項目別評価」、「全体評価」により実施する。</p>	<p>年度計画の小項目ごとの進捗状況について ~ の5段階で評価し、業務実績と判断理由を記載するほか、特記事項に特色ある取り組み等についても記載する。その他、小項目ごとに重要性を勘案してウエイト付けを実施。</p> <p>：(年度計画を)大幅に下回っている ：十分に実施できていない ：順調に実施している ：上回って実施している ：大幅に上回って実施している</p> <p>教育研究に関しては、その特性への配慮から、専門的な観点からの評価は行わず、年度計画の記載項目ごとに事業の外形的・客観的な進行状況を記述式により記載する。</p>	<p>年度計画の小項目ごとの進捗状況について ~ で評価を行い、法人による自己評価と判断が異なる場合は、評価理由等を示し、それをもとに大項目ごとの進行状況について、S～Dの5段階で評価する。</p> <p>～ は業務実績報告書と同様</p> <p>S：特筆すべき進行状況（評価委員会が特に認める場合） A：計画どおり（すべて ~ ） B：おおむね計画どおり（ ~ が9割以上） C：やや遅れている（ ~ が9割未満） D：重大な改善事項あり（評価委員会が特に認める場合）</p> <p>教育研究に関しては、その特性への配慮から、専門的な観点からの評価は行わず、小項目ごとに事業の進行状況を確認し、特筆すべき点や遅れている点についてコメントを付す。</p>	<p>項目別評価の結果を踏まえ、中期計画の進行状況全体について、記述式により評価する。</p>
北九州市立大学	<p>年度評価は、法人が提出する業務実績報告書に基づき、「分野別評価」、「全体評価」により実施する。</p>	<p>中期計画の記載項目ごとにその進行状況を示すとともに、判断理由を記載。年度計画の項目別の進行状況は、 ~ の4段階で評価するほか、分野ごとに特記事項を記載する。</p> <p>：(年度計画を)実施していない ：十分に実施できていない ：おおむね十分に実施している ：上回って実施している</p> <p>教育研究に関しては、専門的な観点からの評価は行わない。</p>	<p>年度計画の項目別に ~ で評価を行い、法人による自己評価と判断が異なる場合理由を示し、それをもとに年度計画の大項目ごとにA～Eの5段階で評価するほか、特筆すべき点や遅れている点について記述式で評価を行う。</p> <p>A：特筆すべき進行状況（評価委員会が特に認める場合） B：計画どおり（すべて または ） C：おおむね計画どおり（ または の割合が9割以上） D：やや遅れている（ または の割合が9割未満） E：重大な改善事項がある（評価委員会が特に認める場合）</p> <p>教育研究に関しては、専門的な観点からの評価は行わない。</p>	<p>分野別の評価結果を踏まえ、中期計画全体の進行状況について、記述式により評価する。</p>